

みなしご通信



山の整備がもたらす 食物連鎖

2019年。今から6年前のこと。当時敷化していた雑木林を整備して広島本部から馬のマリーと山羊全5頭を栃木拠点に移住させました。そのとき私は樹木のことも山で暮らす野生動物のこともなにもわからないう素人だったのでたちまち(とりあえず)樹木の名前もわからないまま太陽の光が入る程度に抜根して整備しました。運のいいことにその中に1本の栗の木があり、その後その栗の木はそこに暮らすことになったニホンジカやイノシシの糞から栄養を取るようになり、途中で現れたクリタマバチ被害にも負けずどんどん立派になって、今ではお店で売つてような立派な実をつけるようになりました。写真の右が6年前に整備



しニホンジカとイノシシの糞がある場所の栗の実。左が今年整備したばかりでニホンジカもイノシシも生息していない場所の栗の実。私たちは6年前に太陽の光が地面まで入るように整備しただけでその後は特になにもしていないのに、ここまで大きさが変わるんだなと驚きました。那須烏山市の市街地の路上に座って一心不乱に栗を

食べていたところ住民に見つかつて大騒動になり、すつたもんだの末捕獲され那須烏山市の川俣市長から引き取りの要請を受け獣舎作り等の準備を急ピッチで進め満を持してうちにやつて来たツキノワグマのカツは、今でもこの時期はで〜んと《座つて》栗を食べます

(笑)ツキノワグマはイガに入つたままの栗もちゃんと爪で取り出して一粒一粒丁寧に残さず食べます。ちよつとの食べ物でも丁寧に食べる点は私がカツから見習うべき点です。

栗はニホンジカも大好き♪チクチク痛いイガもなんのその、クチを使ってイガから栗の実を出して食べます。そしてニホンジカは皮も丸ごと食べるのでツキノワグマより食べ物を無駄にしない生き物です。イノシシもニホンジカとまったく同じでクチを使ってイガから栗の実を出してやはり皮も丸ごと食べます。山で暮らす野生動物の動きを見ると人間も栗を食べるならイ

ガから栗の実を出すぐらい当たり前にならなきゃね！かく言う私も栗のイガは苦手で指先でチョロつと持つのみです。

さて人間にこよなく近いニホンザルだど〜なるでしよう？ひろしにイガのまま渡してみました。手で触つて一瞬痛ッ！とゆ〜リアクションはしましたがニホンジカやイノシシ同様クチだとイケるみたいで栗の実を取り出しました。ひろしの場合栗の実を取り出しただけで「これは茹でる前のナマ状態の栗じゃけえ〜食べれん！」少しの間転がして遊んでいたけど最終的にはカンジハウスに投げ込みカンジが拾って食べました。うちの他のニホンザルたちは普通にナマのまま食べるのでひろしが食べないのは甘やかして育てた私に責任があると思っております。こゝしてみると山にある栗の木は山で暮らしている多くの野生動物たちの食料になっているんだなあとつくづく思います。地面にま

で太陽の光が入るように山を整備すれば栗の木は頑張つて実をつけてくれます。そこにニホンジカやイノシシの糞が落ちると木は動物性の栄養も補給しながら更に立派になって多くの野生動物たちのお腹を満たすことができます。山に生えている樹木が活きると野生動物が生きその糞でまた樹木が活きていく。こゝゆゑ当たり前の食物連鎖ができる山を私は日本各地に作つていこうと考えています。

生物の多様性

白黒ちゃんたちのごはん皿をカンジが取った瞬間※※イノシシカンジはプラス





チックコレクターだからとにかく集めるんです(笑)こんなにデブなのにカンジはなかなか素早いんです(笑)イノシシが目の前にいても特に動じることもなくカンジの動きを冷静に見てる白黒ちゃんとそのそばを普通に歩いている黒ちゃん。これこそが大猫みなしご救援隊が求める最たる姿、生物多様性 biodiversity...。

さははひどいよ！(カラス) お互い黒だしさ暑さがしみるよね(カツ) あそこにあるオレのプールに入りなよ少しは涼しくなるから... この後ふたりは長時間ともに過ごし(カラス) そろそろ日暮れだし今日のところは山に帰るよ(カツ) オレは日が暮れても迎えが来るから安心。まゝ気をつけて帰りなよ(カラス) うん！じゃあまた明日ねー♪人間以外の生き物は他の生き物を排除しません。邪魔だ！とかアホみたいな理由で他の生き物を排除するのは人間だけです。

イリュージョン

遊び時間が終わったので下半身不随のユキ&ユメをケージに戻してまずはユメちゃんのオムツを外してオシッコ絞って...の作業中、ちよつと目を離したら次にオムツを外すユキちゃんの隣にちびつ子が1匹ちよんと座っておりまして。あれ？なんでアオイがここに居るの？ユキ&ユメもビッ



クリです(笑)ちびつ子アオイは隣のケージの子どもです。アオイはシオリの子どもで即座に戻されましたがこれはまた来るぞ！と思つて待ち構えていたら、ケージを登っているアオイの頭が見えました！ケージを取り巻いている新聞紙の上に立ちました！体重が軽いからできるワザだけどそれにしてもうまいこと立っね！すごい身体能力。お姉ちゃんたち！遊ぼーッ♪外の世界に目が向くところです。ケージから出たところでここは個室。庭にも自由に出れたりする大部屋のようにそこまで危険なわけではなし、今以上にガチガチに

封鎖して閉じ込めるのもどーなんじやろうかと思ひ、ちよつとこのままでやつてみよーや！となりました。動物と暮らすとゆーことは動物と知恵比べの毎日だ！とゆーことです♪



本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。



NPO法人 (特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊

〒731-0234

広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2

TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。

YAHOO! JAPAN ネット募金

 つながる募金

▲ネットやスマホで当団体に募金できます